

球磨工業高等学校 2学年_全科「国語総合」シラバス（1～2月分）

1. 単元 《漢文》『論語』

2.単元の目標	3.評価規準
<p>【知識および技能】 ・『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付く。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持つ。</p>	<p>【知識および技能】 ①『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ③古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持てる。</p>

4.授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第1回	前単元の復習	1	『卒業ホームラン』の復習を行う。 《方法》復習プリントの問題演習を行い、Classroomの解答を見て答え合わせを行う。	プリントの提出	
第2回	『論語』の基礎事項について押さえる	2	・『論語』について既習の知識をまとめる。 ・『論語』の基礎事項について押さえ、理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①
第3回	「学問」について学ぶ	3	・『論語』の「学問」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。	プリントの提出	①・②
		4	《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。		
第4回	「仁」について学ぶ	5	・『論語』の「仁」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①・②
第5回	『論語』のまとめ・復習	6	・学んだ内容を復習し、現代に結びつく考え方について自分の意見を書く。 《方法》 授業プリントによるまとめと意見の記入（作文）	プリントの提出 Forms ミニテスト	②・③

球磨工業高校 2 学年 「現代社会」 シラバス (3 学期分散登校期間分)

期 間 1 月 2 8 日 (金) ~ 2 月 1 0 日 (木)

使用教材 教科書：改定版 高等学校 現代社会 (数研出版)

資料集：ライブ! 現代社会 2 0 2 1 (帝国書院)

1. 単元 第 2 節 日本国憲法と基本的人権 (6) 日米安保体制と近年の防衛問題 (p92~93)

第 3 節 日本の政治機構 (1) 国会のしくみと役割 (p94~95)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解する。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③理解を深めるために、資料集やインターネット等の複数の資料を活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考える。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解することができる。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③複数の資料を用いながら、単元の問いに対する答えを導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考えることができる。</p>

※今回の分散登校期間における授業では、①・②及び③の評価規準を主とする。

4. 授業計画 (以下は 1/28~2/10 に実施される現代社会の授業 4 回分の計画です。既に終わっている範囲は次回以降の部分を行うこと)

No	学習項目	授業回	学 習 内 容	評 価 方 法	評価規準
1	日米安保体制と近年の防衛問題	1 時間目	<p>●プリント No.10<日米安全保障条約>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p92~93、資料集 p171~182、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③
		2 時間目	<p>●プリント No.10<自衛隊の国際協力と海外派遣><日本の安全保障の変容>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p92~93、資料集 p171~182、p295~296、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③ ④
		課題	<p>●確認テスト (Google Form)</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	①

2	国会のしくみと役割	1時間目	<p>●プリント No.11<国民主権と議会制民主主義><国会の地位と構成>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	②
		2時間目	<p>●プリント No.11<国会の権限><国会の現状と改革>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	② ③
		課題	<p>●確認テスト（Google Form）</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	②

登校しない日の授業について

- ・プリントの空欄の穴埋めを進めてください。
- ・授業の時間には必ず現代社会のクラスルームを開いておいてください。
- ・授業中に簡単な質問をクラスルームに提示するので必ず応答（コメント）してください。
※この質問は出席確認用です。コメントの内容で評価をするものではありません。
- ・確認テストの時は、回答が終わるまで教科書や資料集等は閉じておいてください。（カンニング禁止）
- ・No.11のプリントまで終わった場合は、No.12、No.13のプリントを進めてください。

※その他不明な点があれば、登校時に直接問い合わせてください。（クラスルーム等で質問をしても構いませんが、全てに対応できない可能性があります。）

球磨工業高等学校 2 学年「数学Ⅱ」シラバス（1～2月分）

1. 単元 5章 微分と積分 3節 積分

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分と積分の関連性に着目できる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積分法の意味に関心をもつことができる. 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する事ができる. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 微分積分の関連性に着目し計算できるようになる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て, 実施し, 取組を振り返る.

4. 授業計画 【登校→登校日, 家庭→家庭学習】

	学習項目		学習内容	評価方法	評価規準
第1回	*不定積分 和・差 不定積分 教科書 P207～210 WRITE 問題集 P126～128	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	① ②
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 6～1 2 8 (※370 を除く)を解く ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第2回	*定積分 教科書 P 211～212 WRITE 問題集 P 129	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	③
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 9 ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第3回	*定積分の公式 教科書 P 213～214 WRITE 問題集 P 130～131	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	①
		家庭	・WRITE 問題集 P 130～131 (※376. を除く) ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④

【注意】Forms は「数学Ⅱ クラスルーム」にあります

【提出〆切】WRITE 問題集：学年末考査終了日に提出、Forms：2/10(木)18:00まで

球磨工業高等学校 2 学年_全科「物理基礎」シラバス (1/28-2/10)

1. 単元 (1) 仕事の原理、仕事率 (2) 運動エネルギーと位置エネルギー

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の原理および仕事率を理解する。 ・運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現する。 ・運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仕事の原理および仕事率を理解できる。 ②運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現できる。 ④運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深めることができる。

4. 授業計画

授業の進め方

- (1) 授業プリント（記入用）、演習プリント（問題）、演習プリント（解説）の3種類を配付します。
- (2) Google Meet で授業を行いますので、授業プリントに記入したり miro で他の生徒の考えを取り入れながら学習します。
- (3) 演習プリントで、学んだ内容を練習する。
- (4) 演習プリント裏面の解説を見ながら丸をつけ、間違いやわからないところは解説を読んで理解する。
- (5) Google Classroom で質問に回答することで出欠確認とします。

5. タイムスケジュール

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・教科書 P. 60-61 ・授業プリント NO. 22 	クラスルームの質問への回答	① ⑤
第2回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 ・miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	③ ⑤
第3回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・教科書 P. 60-61 ・授業プリント NO. 22 	クラスルームの質問への回答	② ⑤
第4回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 ・miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	④ ⑤

球磨工業高校 2 学年「体育」シラバス (1/28～2/10)

1. 単元 (1) 選択球技 (2) 体育理論

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を積極的に取り組む。健康・安全を理解し運動に取り組む。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方を考え、工夫する。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各運動種目の動きを身に付ける。 <p>【知識・理解】</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課題を積極的に取り組むことができる。 ②健康・安全を理解し運動に取り組むができる。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③学習の仕方を考え、工夫できる。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④状況に応じた動きや対応をすることができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	・体育理論 (選択球技)	1	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習する。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第2回 登校	・体育理論 (選択球技)	2	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習。	課題点検 授業観察	① ③
第3回 自宅	・体育理論 (選択球技)	3	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を自学。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第4回 登校	・選択球技	4	選択球技 (バスケット・バレー・ハンドボール・サッカー・ソフトボール)	授業観察 技能テスト	② ④ ⑤

※分散登校により第1回と第2回、第3回と第4回が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高校 2 学年「保健」シラバス (1/28~2/10 分)

1. 単元 (1) 社会生活と健康

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組む。</p> <p>【思考・判断】 健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断する。</p> <p>【知識・理解】 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断】 ②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断することができる。</p> <p>【知識・理解】 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	7 働くことと健康 (p 104. 105) 8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	1	・教科書を参考にノート P96・98・100 を解く。 1・2 学期に学んだことの復習。	Forms による取組アンケート 課題 (ノート)	① ②
第2回 登校	8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	2	・説明を聞く。 ・必要事項をノートにまとめる。	授業観察 課題点検	③

※分散登校により第1回目と第2回目が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高等学校 2 学年__全科「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス(1~2月分)

1. 単元 (1) 教科書 Lesson5 The High school Student Restaurant

2. 単元の目標	3. 評価規準
【関心・意欲・態度】 ・職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組む。 【表現の能力】 ・It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書く。 【理解の能力】 ・本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解する。 【知識・理解】 ・It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解している。	【関心・意欲・態度】 ①職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組むことができる。 【表現の能力】 ②It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書くことができる。 【理解の能力】 ③本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解できる。 【知識・理解】 ④It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	場所	学習内容	評価方法	評価規準
1	Lesson5-1 50ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書51ページ (3) Lesson5-1 プリント (4) forms で英作文を提出する。	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 校内検定プリント(12回)	提出物	
2	Lesson5-2 52ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書53ページ (3) Lesson5-2 プリント (4) (宿題/classroom) 音読テスト	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 本文書きプリント (2) 提出物確認 ①教科書(51ページ、53ページ)、 ②Lesson5-1 プリント ③Lesson5-2 プリント、 ④校内検定プリント ⑤本文書きプリント	提出物	

※学年末考査内容(予定)

- (1) チャンクで英単語(Step17、Step18)
- (2) Lesson5-1(教科書50~51ページ)とそのプリント
Lesson5-2(教科書52、53ページ)とそのプリント
- (3) 校内検定12回

※【提出物について】

- (1) 教科書、プリントの提出物は学年末考査の英語のテストが実施される日に、英語係に提出。
- (2) 冬休みの宿題(ドリルノット)の未提出、再提出は、登校時に提出。最終締切、提出方法は(1)と同じ。

球磨工業高等学校 2 学年_全科「家庭基礎」シラバス（1～2月分）

1. 単元 子どもと共に育つ ①子どもの育つ力を知る

2. 単元の見どころ	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考える。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考える。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達段階を知る。 ・子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>①子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考えようとしている。</p> <p>【思考力・判断・表現】</p> <p>②遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考えを深めることができる。</p> <p>【技能】</p> <p>③子どもとの触れ合いに、発達に応じた関わりをいかすことができる。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>④子どもの心身の発達の特徴を理解している。</p> <p>⑤子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解している。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	はじめに 生まれつき持っている能力 乳幼児期の成長	1	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント「子どもと共に育つ」に取り組む。(教科書 p 34～35 の写真も見ながら) ※生活学 N a v i p 26～も参考にする。 ・教科書 p 36～37 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る① (No 1)」に取り組む 	課題プリント	① ④
第2回	心の発達 遊びの発達	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p 39～40 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 1)」に取り組む。 ・教科書 p 40～41 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 2)」に取り組む。 	課題プリント	② ④ ⑤

※教科書の図や表などもしっかり見ながら、プリントに取り組みましょう。

・解答はクラスルームで配付しますので、各自確認してください。補足説明等は分散登校日の授業で行います。

・プリントは、なくさないようにファイルに綴じておいてください。

球磨工業高等学校 2 学年_建設工学科「実習」シラバス

1. 単元 (1) 職業とは (2) 土木構造物の種類や特徴について

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業について，仕事内容（製品，工程など）を理解する。 ・ 土木構造物について，その形状や機能を理解する。 <p>【思考力，判断力，表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自身の進路選択に役立てる。 ・ 土木構造物の特徴を捉え，役割や景観に配慮したものを選択できる。 <p>【学びに向かう力，人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業技術に関する広い視野や自ら学ぶ態度を身につける。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 職業について探究できる。 ② 土木構造物の形状や機能を理解している <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ インターネットを利用し，必要な情報を入手できる。 ④ 調べた内容を，きちんと整理し，描いたりまとめたりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 自ら進んで課題に取り組んでいる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	職業の種類とその内容	3	現在興味がある職業についてインターネットで検索し実習ノートにメモする。 内容を整理し，実習の音にまとめる。	実習ノートの内容（メモと整理したもの）	①②
第2回	土木構造物の形状と特徴	3	興味がある土木構造物をインターネットで検索しメモして，その形状を描き，特徴をまとめる。	実習ノートの図及び内容	③④ ⑤

球磨工業高等学校 2 学年_建設工学科「製図」シラバス

1. 単元 図面の表現方法

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラフスケッチ（概略図）を理解する。 ・建設機械の種類や特徴を理解している。 <p>【思考力，判断力，表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設機械の特徴を表現できる。 <p>【学びに向かう力，人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業技術に関する広い視野を持つことを目指して自ら学ぶ態度を身につける。 	<p>【知識・技能】</p> <p>① ラフスケッチの意味や重要性を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>② インターネットを活用し，必要な情報を入手できる。</p> <p>③ 建設機械の特徴を捉え，形状をうまく描くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>④ 自ら進んで課題に取り組んでいる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	建設機械の選定と特徴調べ	2	インターネットを活用し，建設機械をひとつ選び，その特徴を実習ノートにメモする。	実習ノートのメモの内容	①② ③④
第2回	ラフスケッチと特徴の整理	2	実習ノートにメモを参考に建設機械をラフスケッチし，その特徴を整理して書く。	実習ノートのラフスケッチと特徴の内容	

球磨工業高等学校 2 学年_建設工学科「情報技術基礎」シラバス（1、2 月分）

1. 単元 1 章 6 節情報化社会のモラルと管理、2 章 2 節ソフトウェアの基礎
3 章 1 節プログラム言語、4 章 3 節論理回路の基礎、5 章 1 節コンピュータネットワーク

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術の基礎について理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術に関する基礎的なしくみを理解し、表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①情報技術の基礎について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②情報技術に関する基礎的なしくみを理解し、表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	情報化社会のモラルと管理	1	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント第 6 1 回を解く。 ・採点后、誤答を訂正する。 ・教科書 P 2 2 から P 3 2 	プリントNo.1~2	① ② ③
第 2 回	ソフトウェアの基礎	2	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント第 6 2 回を解く。 ・採点后、誤答を訂正する。 ・教科書 P 4 1 ~ 4 2 	プリントNo.3~4	① ② ③
第 3 回	プログラム言語	3	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント第 6 5 回を解く。 ・採点后、誤答を訂正する。 ・教科書 P 73 から P 92 	プリントNo.5~6	① ② ③
第 4 回	プログラミング	4	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント第 6 6 回を解く。 ・採点后、誤答を訂正する。 ・教科書 P 8 9 から P 1 1 1 	プリントNo.7~8	① ② ③

球磨工業高等学校 2 学年_建設工学科「測量」シラバス（1～2月）

1. 単元 実教出版「測量」 第2章6節角測量器械の器械誤差 第3章4節トラバース測量の内業
第6章1節誤差の種類 第9章1節地形図

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 測量の基礎について理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 測量に関する基礎的なしくみを理解し、表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 測量の基礎について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ② 測量に関する基礎的なしくみを理解し、表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	角測量 測量の誤差	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 P 46～ 47 を読む。 ・ プリントNo.5(6)(7)を解く。 ・ 教科書 P122～123 を読む。 ・ プリントNo.5(8)(9)、No.6 を解く。 ・ 誤答や理解できなかった問題にマークをする。 	プリントNo.5～6	① ② ③
第2回	トラバース測量	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 P 56～ 64 を読む。 ・ プリントNo.7～8 を解く。 ・ 誤答や理解できなかった問題にマークをする。 	プリントNo.7～8	① ② ③
第3回	トラバース測量 水準測量	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回の復習としてプリント No.9 を解く。 ・ 教科書 P106～107 を読む。 ・ プリントNo.10 を解く。 ・ 誤答や理解できなかった問題にマークをする。 	プリントNo.9～10	① ② ③
第4回	水準測量	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回の復習としてプリント No.11 を解く。 ・ 教科書 P171～174 を読む。 ・ プリントNo.12 を解く。 ・ 誤答や理解できなかった問題にマークをする。 	プリントNo.11～12	① ② ③

球磨工業高等学校 2 学年_建設工学科「建設基礎」シラバス（1・2 月分）

1. 単元 土の基本的性質 土の構成と状態の表し方

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土の状態を表す諸量について理解する。 計算方法を理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土の状態を表す諸量との関係性を表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①様々な土の状態が理解できる。 ②土の状態を表す諸量を公式を用いて求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ③土の状態を表す諸量と実現象の関係が理解できる。 ④最適な公式を選択し、適切なプロセスを経て解答することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤計画を立て実施し取組を振り返ることができる。

4. 授業計画

タイムスケジュール

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	土の分類① 『粒度』	1	・教科書 p. 169 を読み、プリントの問い①～⑩に取り組む	課題プリントの 取組状況で評価 小テスト	① ③ ⑤
第 2 回	土の分類② 『粒度』	1	・教科書 p. 169～p. 172 を読み、プリントの「有効径・均等係数・曲線係数・分類に関する問題」に取り組む	課題プリントの 取組状況で評価 小テスト	② ④ ⑤
第 3 回	土の分類③ 『土のコンシステンシー』	1	・教科書 p. 173～p. 174 を読み、プリントの問い①～⑩と「塑性指数に関する問題」に取り組む	課題プリントの 取組状況で評価 小テスト	① ② ③ ⑤
第 4 回	土中の水の流れと透水性	1	・教科書 p. 186、p. 190、p. 192 を読み問い、プリントの問い①～⑩に取り組む	課題プリントの 取組状況で評価 小テスト	① ② ③ ⑤
第 5 回	ダルシーの法則と透水係数①	1	・教科書 p. 187～p. 188 を読み、プリントの問い①～⑨に取り組む	課題プリントの 取組状況で評価 小テスト	① ③ ⑤
第 6 回	ダルシーの法則と透水係数 2	1	・教科書 p. 193 の例題 1 を理解し、プリントの類題（問題 5）に取り組む	課題プリントの 取組状況で評価 小テスト	② ④ ⑤

球磨工業高等学校 2 学年_建設工学科「建設施工」シラバス（1～2月）

1. 単元 (1) コンクリート舗装 (2) ダム (3) トンネルの山岳工法
 (4) 海岸堤防 (5) 混成堤 (6) 鉄道 (7) 鉄道営業線 (8) シールド工法

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2級土木施工管理技術検定に合格できる知識を有する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種工法の概要（構造や形状）やその特徴を説明できる。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業技術に関する広い視野や自ら学ぶ態度を身につける。 	<p>【知識・技能】</p> <p>① 2級土木施工管理技術検定に出題される内容を知識として身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>② 各種工法の概要を簡潔かつ分かりやすく表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③ 自ら進んで課題に取り組んでいる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	「建設施工」課題1	1	「コンクリート舗装」, 「ダム」について, 教科書(ページはプリントに記載)を参考に(1)～(4)に関する内容をまとめ書く。	プリントの完成度	①② ③
第2回	「建設施工」課題2	2	「トンネルの山岳工法」, 「海岸堤防」について, 教科書(ページはプリントに記載)を参考に(1)～(4)に関する内容をまとめ書く。	プリントの完成度	
第3回	「建設施工」課題3	3	「混成堤」, 「鉄道工事」について, 教科書(ページはプリントに記載)を参考に(1)～(3)または(4)に関する内容をまとめ書く。	プリントの完成度	
第4回	「建設施工」課題4	4	「鉄道営業線」についてはインターネットで調べ, 「シールド工法」については教科書(ページはプリントに記載)を参考に, (1)～(4)に関する内容をまとめ書く。	プリントの完成度	